

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日(当事業年度の中間配当の予定はございません)
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.fujipream.co.jp)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料)

ご注意

- 1 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フジプレアムと社会を結ぶ情報誌

PRE【プレ】

フジプレアムの「プレ」は、「先駆ける」、「アム」は「存在」という意味が込められています。この「プレ」をタイトルにした株主通信は、株主の皆様に適切な経営情報を先駆けてお届けし、フジプレアムと社会との関わりを分かりやすくお伝えするとともに、当社が誇る技術や将来性などをご紹介してまいります。



特集

決算報告トップインタビュー

投資を成果へ。新たなステージを目指して。

特集2

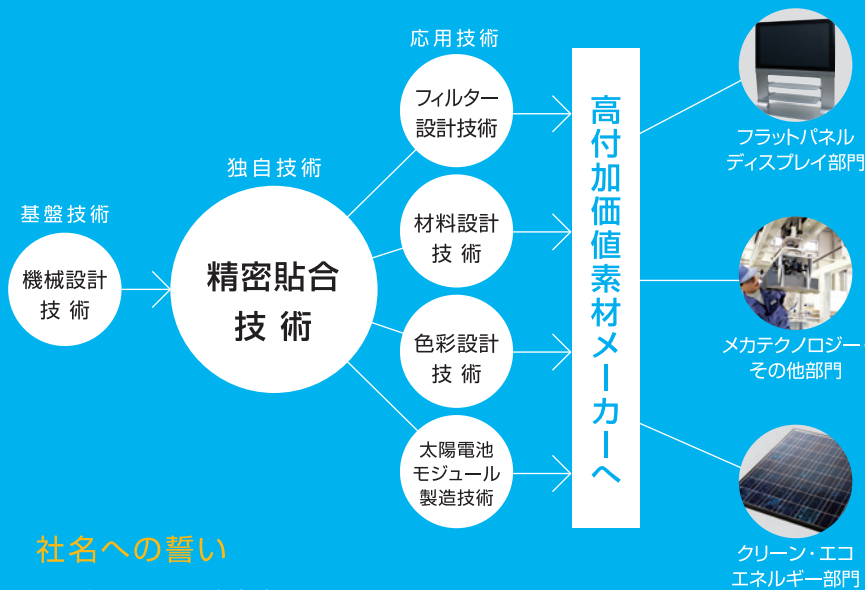
フジプレ販売株式会社設立

不可能への挑戦

フジプレミアムは「不可能への挑戦」を掲げ、未来を切り開く研究開発型企业です。

経営ビジョン

フジプレミアムは、精密貼合技術を活かし、新たな価値を創造する素材メーカーを目指します。



社名への誓い

"FUJI(不二)" 2つにあらず、
"pre" 先駆けて、"am" 存在する企業でありたいと、
常に「不可能への挑戦」を心がけています。



光都工場

光都PV工場

100年先の暮らしを照らすため、自らに与えられた使命を果たす。
「共存・共生・共産」の理念で、住みよい社会づくりを目指します。

機動的かつ効率的な事業運営と、企業価値のさらなる向上を目指して、
新たに2代表制で臨むこととなりました。

経営理念

「人」は「財」なり、「財」は「人」作りなり
創意、継続は大いなる「財」なり
自然は大いなる「恵」なり。
全てに対して大いなる「感謝」

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、当社グループの事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第28期(平成22年3月期)年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

現在、わが国の経済は、最悪期を脱しつつあるものの、景気の先行きの不透明感は拭えず、さらには全体的なデフレの影響もあり、企業収益の悪化など、厳しい状況が続いております。

それに対し、当社グループはさらなる生産体制の効率化、事業のスリム化をテーマに掲げ、フラットパネルディスプレイ部門では新工場を開設、クリーン・エコエネルギー部門では新生産ラインを稼働させるとともに、新会社を設立し販売体制を強化するなど「攻めの姿勢」で臨んでまいります。

一方、市場では3Dテレビが一般消費者にも普及し始めるなど、数年前には想像もつかなかったことが起こっています。その変化スピードに対応するためには、これから先、若い力が必要となると考えています。そこで当社グループも松本倫長を代表取締役 経営執行役員に昇格させ、2代表制で臨むこととなりました。これにより会社全体の機動力はいっそう高まるはずです。また、経営者としての経験を若いうちに積むということ、そして周りの皆様から評価されるということは将来的に当社グループにとって大きなプラスとなるはずです。新体制で新たな1ページを刻む、当社グループにどうぞご期待ください。

今後とも、あたたかいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役
松本倫長

代表取締役社長
松本實藏

投資を成果へ——。 新たなステージを目指して。

今回は決算報告トップインタビューと題して、松本代表取締役社長が前年度の総括と、今年度の意気込みについて語ります。まだまだ不透明感が漂う世界経済、激動の様相を見せる市場の中で、今後フジプレミアムグループが達成すべき目標と改善すべき課題とは。松本の言葉から先行投資を積極的に行ってきた理由、そして、その成果のもと新たな局面を迎えようとしている現状を知り、これからの可能性を実感してください。



フラットパネルディスプレイ部門

- ▶ PDP用光学フィルター
- ▶ 液晶偏光板フィルム
- ▶ LCD用加飾フィルター



クリーン・エコエネルギー部門

- ▶ 太陽電池モジュール
- ▶ 太陽光発電応用商品
- ▶ フィルムラミネートガラス
その他応用商品



メカテクノロジー・その他部門

- ▶ 産業用包装・
梱包機械システム
- ▶ 梱包・包装資材



姫路第3工場の稼働により フィルターの生産体制は万全に

フラットパネルディスプレイ部門のファインテック事業部がPDP(プラズマディスプレイ)用光学フィルターに加えて、LCD(液晶ディスプレイ)用の加飾フィルターを本格生産し始めたことにあわせて、姫路工場第3工場を3月に完成させました。これにより約2,500平方メートルだった工場の延べ床面積は約3,700平方メートルまで拡張。月間の生産能力は約8倍にまで高まりました。

従来当社グループが誇っている精密貼合技術にプラスアルファの付加価値を加えて今後は海外市場への進出も目指します。

太陽光発電事業は光都PV工場の 生産ラインを刷新、販売体制も強化

太陽光発電市場の国内での活性化を受けて、当社グループ

も昨年10月より個人住宅用の市場に本格参入しました。そこで光都PV工場の生産ラインを刷新。その新しい生産ラインがいよいよ今年の10月には本稼働する予定です。

また、去る4月1日には当社連結会社であるフジプレミアムソーラー販売株式会社、フジプレミアム商事株式会社を合併し、フジプレ販売株式会社としました。これにより同社で販売、施工、管理まで一貫して手掛けることができるようになり合理化が進みます。今後は個人住宅用の標準型モジュール、建材一体型モジュールという枠組みにとらわれずデザイン対応型としてお客様のあらゆるニーズに応えていきます。

自社の製造装置開発で培った技術力を 新たに他社に転用

メカテクノロジー・その他部門に関しては、これまでは太陽電池モジュール製造装置やPDP用光学フィルターおよびLCD用加飾フィルター製造装置など社内設備の開発を中心に取り組んできましたが、現在それらの技術を基盤に社外に送り出すための新たな装置の開発にも取り組んでいます。さらなる高効率、高品質を実現できる機械が完成し、社会に大きく貢献できればと考えています。



姫路第3工場の完成により光学フィルターの月間生産能力が8倍も向上



すでに多くの実績をあげている個人住宅用太陽光発電システム



培ってきたメカテクノロジーを様々な分野で応用

投資を成果へ——。新たなステージを目指して。



精密貼合技術を武器に ワールドプライス化に対抗

世界経済が回復の兆しを見せる中、日本経済はデフレに喘いでいます。しかし、私は世界標準価格に近づいている、つまり日本の価格がワールドプライス化しているだけだと考えています。

中国やインド、東南アジアの製品が低価格一辺倒ではなく品質面も向上している今、日本はこれまでのように「高品質、高価格」という考えを脱却し、「高品質、低価格」の製品づくりを目指さなくてはなりません。これは当社グループにとっても大きな課題となりますが、これまで磨き上げてきた精密貼合技術を活かし切れば充分に対抗できると考えています。

そのために、これまで投資してきたものをフル稼働させることはもちろん、さらなる会社全体のスリム化、スピード化を推し進めてまいります。

部門の垣根を越えて シナジー効果を生み出す

今期の目標としては、まずは前期の反省すべき点をきちんと反省し、それをフィードバックしてさらなる発展につなげます。反省できるということは、まだ伸びしろがあるということです。今後も満足してしまうことなく、常に改善の意志をもって取り組みます。また、今期は先行投資の結果が出る大切な年になると考えています。当社グループにしかできないことを成し遂げ、世の中に新たな製品を供給し、市場で存在感を発揮したいと思えます。

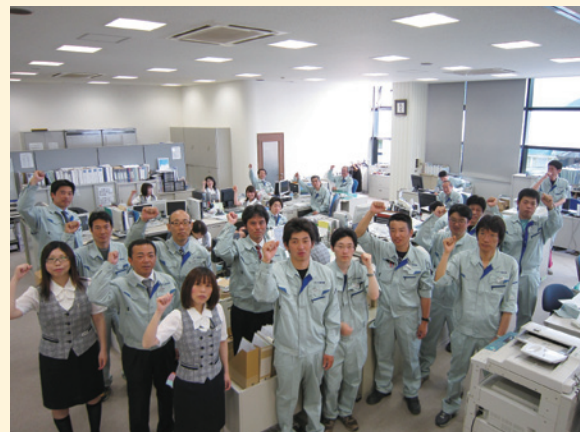
そのためには、これまでの3つのセグメントという考え方にもこだわらず、互いの垣根を越えて融合させながらシナジー効果を生み出さなければならないと考えています。まだまだ日本を取り巻く経済状況は厳しいと思いますが、このように最大限の努力を尽くす所存です。

ステークホルダーの皆様方にはこれまで以上のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

フジプレ販売株式会社設立



フジプレ販売株式会社を新たに設立。
太陽電池モジュールを中心に、
エコエネルギー製品の施工・販売を一手に担います。



社名 フジプレ販売株式会社
代表者 代表取締役社長 松本倫長
所在地 本社
〒671-2216
兵庫県姫路市飾西38-1
TEL.079-268-7080
FAX.079-268-7117

東京オフィス
〒103-0022
東京都中央区日本橋室町
3丁目2番17号室町INビル7F
TEL.03-6225-9757
FAX.03-6225-5368

設立 平成13年4月20日
資本金 1億5,500万円(平成22年4月1日)
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行
従業員 39名(平成22年5月31日)

事業内容の集約と意思統一、販売体制の強化を目的に、2010年4月1日(木)、それまでのフジプレミアム ソーラー販売株式会社とフジプレミアム商事株式会社が合併し、フジプレ販売株式会社が設立されました。さらに今年の10月にはフジプレミアム ロジスティクス株式会社の合併も予定されています。このフジプレ販売は、社名からも分かる通り、フジプレミアムグループの仕入れ、購買、販売、営業部門を担う専門組織。住宅用太陽電池モジュールを中心に、エコエネルギー製品の普及に努めていきます。

また国内のみならず、世界市場を視野に入れており、需要があれば一般住宅用、産業用問わず販売。フジプレミアムでモジュール製造を行っている強みをさらに活かして、より軽量化したモジュールや、より意匠性にこだわったモジュールなど、高品質、高性能、高機能、低価格、長寿命の製品を送り出し、一層のシェア獲得を目指します。

事業内容

- 太陽光発電、風力発電、燃料電池、マイクロガスタービン発電等、各種発電システムの開発・製造・販売
- 太陽熱、ヒートポンプ等給湯システムの開発・製造・販売
- 省エネルギー住宅設備機器の開発・製造・販売
- 太陽電池利用機器の開発・製造・販売



農業活動編

農業ハウスで「太陽光」を活用した 作物の栽培に挑戦

太陽の恵みを野菜や果物、お米作りに。
これからの成果にご期待ください。



可動式太陽電池パネルが設置された農業ハウス。新たな栽培の研究も行われている。



今期収穫されたトマト。ほかにもイチゴや葉菜類も立派に実りました。

フジプレアムでは太陽光発電事業を通じて得たノウハウをさまざまな形で還元しようとさまざまな試みに挑戦しています。姫路工場の北側、農業ハウスで行われている作物の栽培もその一環。可動式の太陽電池パネルが設置されたハウスでは、そのエネルギーを利用して野菜や果物が育てられています。

太陽電池パネルで発電した電力は、水分や肥料を自動で与えるシステムや気温調整システムの電力の一部に使われており、ポット植えマンゴの早期栽培に成功するなど成果を生み出しています。また農地用ト

ラッキングシステム（追尾型太陽光発電システム）を複数台設置するなど、新たな栽培の研究にも取り組んでいるほか、田んぼでは、豊作だった昨年に引き続き田植えを実施。実りの秋が期待されています。日本の食料自給率の問題に、フジプレアムの独自の技術力が役立つ日もそう遠くないかもしれません。



トピックス Topics

TOPICS 01 「PV EXPO 2010 第3回国際太陽電池展」に出展

2010年3月3日(水)～5日(金)に東京ビッグサイトで行われたアジア最大の太陽電池展「PV EXPO 2010 第3回国際太陽電池展」にフジプレアム株式会社及びフジプレアムソーラー販売株式会社も出展しました。当日は意匠性の高い採光型の建材一体型太陽電池モジュールや海外でも実績のあるFMCシリーズスーパーストレートモジュールを出展。たくさんの有名メーカーが集う中、その独自性で大きな注目を集めました。



TOPICS 03 阪神甲子園球場に太陽光発電の看板を掲出

この春から阪神甲子園球場に太陽光発電を宣伝する看板を掲出しています。テレビ中継の際にもたびたび映されており、インターネット上で早くも話題となっています。この看板を通じて、少しでも多くの方にフジプレアムの太陽光発電を知ってもらえたらと思います。野球中継時にはぜひご注目ください。



TOPICS 05 当社研究用農地で田植え

6月3日(木)、当社研究用農地において、昨年に引き続き2回目となる田植えを行いました。稲刈りは9月中旬以降を予定しております。



2010 3 March

TOPICS 02 姫路第3工場の増設工事完了に伴い竣工式を開催

薄型テレビの需要増に伴い、昨年夏から行われていた姫路第3工場の増設工事がこの春無事に終了。それに伴い、去る3月19日(金)に竣工式が行われました。増設されたのは約1,234m²分。ももとの敷地とあわせると約3,724m²の広さとなり、月間の生産能力は5万台から40万台へ、8倍の増強となりました。竣工式当日には東レ株式会社の鈴木常務にお越しいただき、おかげさまでたいへん素晴らしいものとなりました。



TOPICS 04 配当予想修正

当社の配当方針に従い、当初1株当たりの期末配当金を6円00銭(年間配当金6円00銭)と発表しておりましたが、今回10円00銭(年間配当金10円00銭)と修正させていただきます。

	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成21年5月15日発表)	—	—	—	6円00銭	6円00銭
今回修正予想	—	—	—	10円00銭	10円00銭
当期実績	—	0円00銭	—	—	—
前期(平成21年3月1期) 実績	—	0円00銭	—	6円00銭	6円00銭

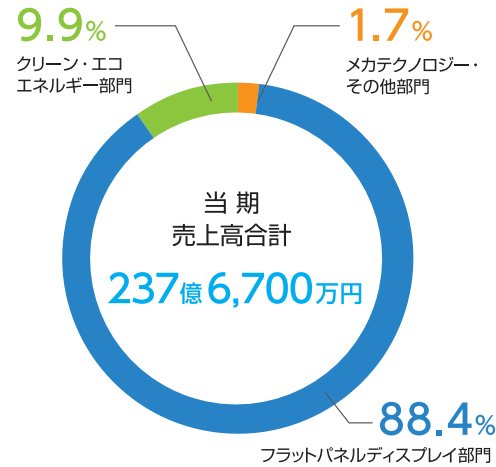
Segment Information

収益性の向上により、当期純利益は9億200万円。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や、企業の在庫調整の進展等により、最悪期を脱しつつあるものの、景気の先行きの不透明感が拭えず、厳しい環境が続きました。

このような状況の中、主力事業であるフラットパネルディスプレイ部門におきましては、薄型テレビの需要拡大に伴い受注数量はほぼ計画どおりに推移いたしましたが、原材料価格の引下げにより売上価格が低下いたしました。また、クリーン・エコエネルギー部門におきましては、第3四半期より販売を開始した自社ブランド太陽光発電パネルの拡販に注力した結果、先行投資が拡大いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高23,767百万円（前年同期比14.1%減）となりました。しかしながら、生産方法の改善や製造設備の改造等により収益性が向上し、経常利益1,400百万円（同38.9%増）を計上し、当期純利益は902百万円（前連結会計年度は637百万円の純損失）となりました。



フラットパネルディスプレイ部門



第27期売上高 245億1,700万円
第28期売上高 210億1,300万円

営業利益前年比7.1%増

フラットパネルディスプレイ業界は、エコポイント制度の導入や、新技術である3Dテレビへの期待も高まっております。当部門におきましても、液晶テレビ用加飾フィルター等、新製品の販売により、ほぼ計画どおりに受注数量を獲得でき、業績は比較的堅調に推移いたしました。市場の拡大に伴い、売上価格が低下し、売上高に影響いたしました。しかし、生産ラインの抜本的な見直しによる、新型生産ラインの導入及び老朽化した生産ラインの除却等の合理化施策が効果を見せ、収益性が向上し、売上高21,013百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益1,394百万円（同7.1%増）となりました。

クリーン・エコエネルギー部門



第27期売上高 14億8,800万円
第28期売上高 23億4,000万円

売上高前年比57.2%増

海外向け太陽光発電市場は依然低迷しておりますが、国内市場は、住宅用太陽光発電向け補助金制度の開始、日本版「グリーン・ニューディール」構想や国民のクリーンエネルギーへの関心の高まりにより、活性化してきております。これを受け当部門は、住宅用及び産業用太陽光発電の自社製造パネルの販路拡大を行うとともに、将来に向けた体制の確立と量産に伴う太陽光発電パネル製造ラインの投資を行いました。この結果、売上高2,340百万円（前年同期比57.2%増）、営業損失26百万円（前連結会計年度は292百万円の営業損失）となりました。

メカテクノロジー・その他部門



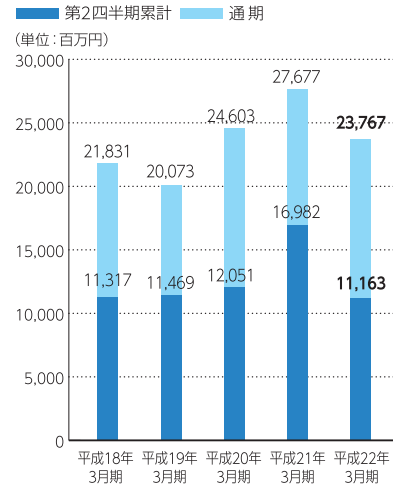
第27期売上高 16億7,000万円
第28期売上高 4億1,300万円

営業利益前年比355.8%増

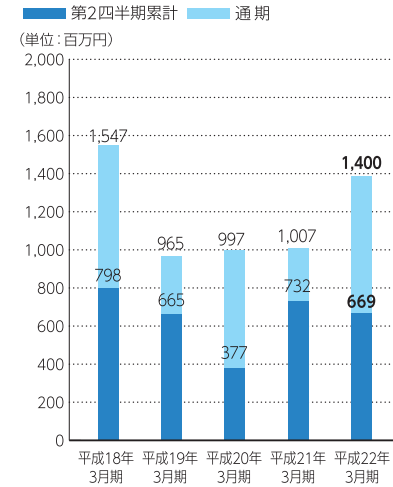
産業機械事業につきましては、主として太陽光発電の新たな事業展開を目的に太陽電池モジュール製造装置や社内設備であるPDP用光学フィルター及び加飾フィルター製造装置の開発等の対応を中心に活動し、グループ全体の業績の安定に貢献いたしました。また、商事事業及び物流事業につきましても、市場経済の影響を受けながらもほぼ計画どおりに推移しましたが、産業機械事業と同様に、グループ内への業績安定活動に注力した結果が業績に影響いたしました。この結果、売上高413百万円（前年同期比75.2%減）、営業利益84百万円（同355.8%増）となりました。

Financial Highlight

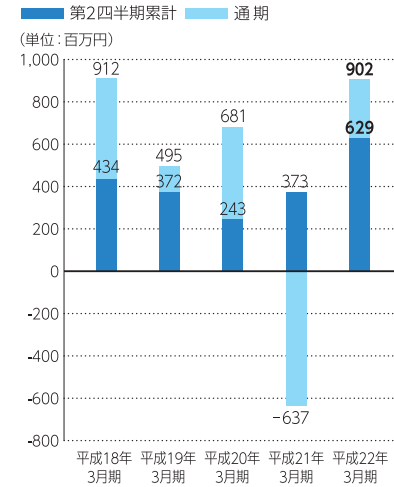
売上高



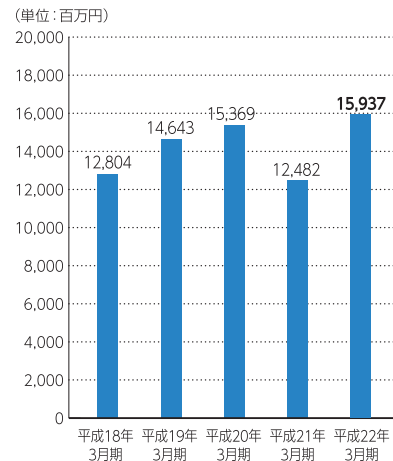
経常利益



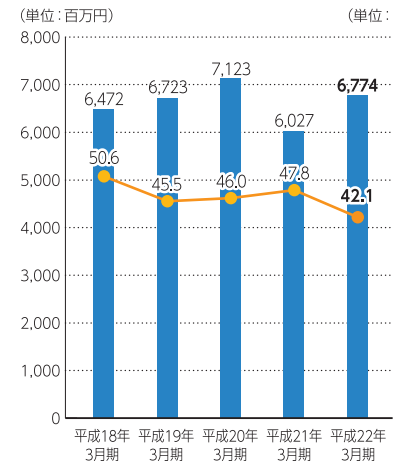
純利益



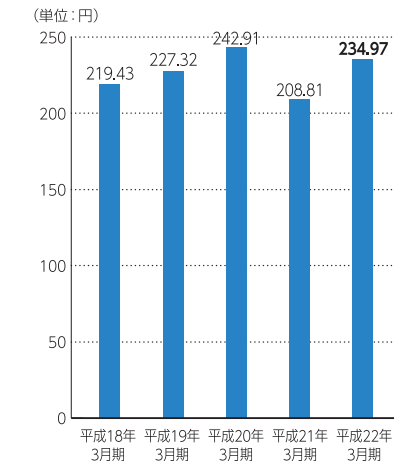
総資産



純資産・自己資本比率



一株当たり純資産



連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成22年3月31日)	前期 (平成21年3月31日)
流動資産	8,857,488	6,364,115
現金及び預金	3,845,683	2,686,103
受取手形及び売掛金	3,238,125	2,490,072
商品及び製品	901,352	147,775
仕掛品	440,986	411,376
原材料及び貯蔵品	319,264	422,083
その他	118,102	211,209
貸倒引当金	△6,025	△4,505
固定資産	7,079,780	6,118,142
有形固定資産	6,832,190	5,836,370
無形固定資産	3,778	4,324
投資その他の資産	243,811	277,447
繰延資産	—	93
資産合計	15,937,269	12,482,351

資産の部

(単位:千円)

科目	当期 (平成22年3月31日)	前期 (平成21年3月31日)
流動負債	6,300,316	5,235,037
支払手形及び買掛金	2,299,468	1,777,487
短期借入金	2,213,092	2,213,596
1年内返済予定の長期借入金	916,579	750,000
未払法人税等	423,118	5,813
賞与引当金	23,847	28,627
その他	424,211	459,513
固定負債	2,862,010	1,219,422
長期借入金	2,728,821	1,158,492
退職給付引当金	1,828	1,492
その他	131,360	59,437
負債合計	9,162,326	6,454,460
株主資本	6,693,544	5,962,067
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	3,116,567	2,385,089
自己株式	△863,833	△863,833
評価・換算差額等	20,745	4,577
少数株主持分	60,652	61,246
純資産合計	6,774,942	6,027,891
負債純資産合計	15,937,269	12,482,351

負債の部

純資産の部

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	23,767,559	27,677,310
売上原価	21,149,858	25,364,737
売上総利益	2,617,700	2,312,573
販売費及び一般管理費	1,198,937	1,264,981
営業利益	1,418,763	1,047,591
営業外収益	59,119	34,893
営業外費用	77,599	74,624
経常利益	1,400,283	1,007,860
特別利益	1,435	400
特別損失	112,804	1,568,639
税金等調整前当期純損益	1,288,914	△560,378
法人税・住民税及び事業税	411,261	43,508
法人税等調整額	△24,680	33,266
少数株主損益	△594	661
当期純損益	902,928	△637,814

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,063,829	826,876
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,404,388	△429,312
財務活動による キャッシュ・フロー	1,501,410	△695,293
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1,271	2,546
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,159,579	△295,182
現金及び現金同等物の 期首残高	2,636,103	2,931,285
現金及び現金同等物の 期末残高	3,795,683	2,636,103

Profile

会社概要

(平成22年3月31日現在)

商号	フジプレアム株式会社 Fujipream Corporation(英)
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本實藏
資本金	2,000百万円
事業内容	PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 生産技術システム関連事業 他
従業員数	482名(連結・臨時雇用含む)
営業所及び工場	本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場／研究所／PV工場 東京オフィス
連結対象となる子会社	フジプレ販売株式会社(設立:平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司(設立:平成15年9月) フジプレアム ロジスティクス株式会社(設立:平成15年10月)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行／みずほ銀行

取締役及び監査役

(平成22年6月29日現在)

代表取締役社長	松本 實藏
代表取締役	松本 倫長
取締役副社長	松本 守雄
取締役	田頭 未徳
取締役	小河 昌之
監査役	藤田 和也
監査役	片岡 智彦
常勤監査役	松本 毅(社外)
監査役	木村 裕史(社外)

株式の分布状況

(平成22年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	5,074名

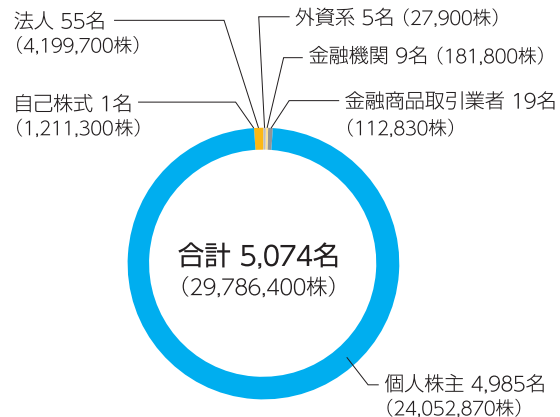
大株主の状況

(平成22年3月31日現在)

松本 實藏	15,130,700株
松本 庄藏	1,854,000株
東レ株式会社	1,560,000株
フジプレアム株式会社	1,211,300株
旭硝子株式会社	936,000株
リンテック株式会社	936,000株
ジェイアンドエム株式会社	475,500株
松本 倫長	441,400株
松本 春代	360,000株
松本 守雄	330,000株

株式分布状況

(平成22年3月31日現在)



HARIMA-TAMBOU

播磨探訪

好奇心おう盛な子ども達はフロア内を行ったり来たり。科学の面白さを実感しています。

今、日本の教育現場で「科学ばなれ」が叫ばれています。しかも、それは先生にまで波及。実験授業が苦手と答えた先生は6割にも上るといふから困ったものです。科学は、世の中にたくさんある「謎」を解決するために欠かせない学問。フジプレアムもその科学の力のもとに成長してきました。

実は姫路は、大型放射光施設の「Spring-8」や数多くの研究施設が立ち並ぶ播磨科学公園都市があることからわかるように、古くから科学に所縁のある地域。行政も力を入れていて、市内にはとても立派な科学館が存在しています。また、その周辺には星の子館、こどもの館といったユニークな教育施設も集まり、人気スポットとなっています。

今度の週末は「科学に触れる」をテーマに過ごしてみてもいい？大人になった今だからこそ理解できるような意外な発見があるかもしれませんよ。



地球の生命の歴史を2階フロアには恐竜ジオラマを展示。映画も観負けるの大迫力です。

サイエンスシアターでは大人も楽しめるいろんな実験が行われます。まるで手品のよう!

3階では身の回りに存在している「ふしぎ」を実際に楽しみながら体感できます。

さまざまな展示とプラネタリウムが楽しめる
姫路科学館

兵庫県姫路市青山1470-15 TEL079-267-3001
開館時間：9:30AM～5:00PM
休館日：火曜日(祝・祭日は開館)、祝・祭日の翌日、年末年始、設備点検日
観覧料：常設展示……一般500円/高校生200円/小中学生200円
プラネタリウム……一般400円/高校生100円/小中学生 50円
<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

2009年8月にリニューアル。以来連日多くの来場者でにぎわっています。「地球と郷土の自然」「身のまわりの科学」「私たちの宇宙」の3つのテーマで構成されていて、常設展示だけでなく、学芸員によるお話会やサイエンスショーなども定期的に行われているのが人気の理由。「1日居ても飽きない」「意外な発見があった」と大人からも好評です。



vol.19

姫路と科学の良い関係。



天体望遠鏡を備えた宿泊型児童館
星の子館

兵庫県姫路市青山1470-24 TEL079-267-3050
開館時間：9:00AM～5:00PM
(天体観望会は7:00PM～と8:00PM～)
休館日：8月、12月を除く、毎月第2水曜日、年末年始
<http://www.city.himeji.lg.jp/hoshinoko/>

90cmの反射望遠鏡を備えた宿泊もできる児童館。休館日を除く毎日、観望会が行われており、宿泊しなくても参加できます。施設内には「どくしょルーム」や「プレイルーム」、「トレーニングルーム」、さらにはレストランや大浴場も完備。リピーターも多い人気施設です。